

事務所名	中部教育事務所	学校名	遠野市立宮守小学校	TEL	0198-67-2135
------	---------	-----	-----------	-----	--------------

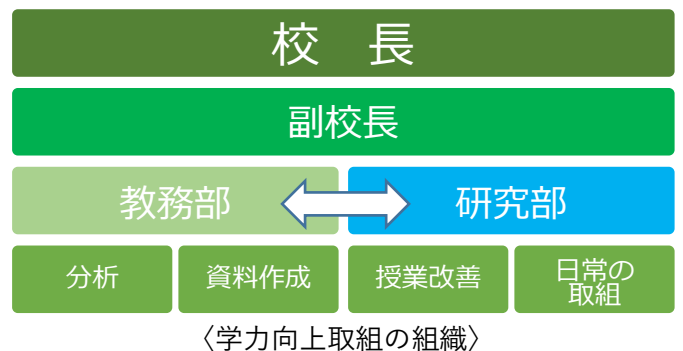
4つのC(CHANCE CHALLENGE CHANGE CONFIDENCE)で取り組む組織的学力向上

【今年度の目標】

- 1 教科調査について
 - ・県学調の県平均正答率を上回る。
 - ・全国学調、県学調の「読むこと」「量と測定」領域の全国比、県比の向上(H29より向上させる)。
 「読むこと」全国比A-7.7%・B-11.7%以上 県比-10.4%以上
 「量と測定」全国比A-6.3%・B-3.2%以上 県比+2.1%以上
- 2 児童質問紙について
 - ・「学校の授業以外での読書時間」の10分未満の割合を減らす。(H29の28%より減らす)

【組織的な対応を図る上で工夫した点】

- 1 問題点・成果を共有しやすい結果分析
- 2 課題共有の場を何度も設定
- 3 活用しやすい事後指導資料
- 4 研究ととりっ子キャンペーン



【具体的な取組】

教師も児童も合い言葉は「ChanceをつかみChallengeしChangeすることでConfidenceを高める」4つのC

1 調査結果をどのように分析したか

～組織的な対応のための調査結果資料作成上の工夫点～



平成30年度 全国学調のまとめ

1 全国県との比較 (本校正答率-県・全国正答率) ※問題数の多い所は口で囲んでいます。

国語A	県比	全国比	国語B	県比	全国比
全体 12問	1	1	全体 8問	1	1
話すこと・聞くこと 1問	1	1	読心・意欲・態度 3問	1	1
書くこと 1問	2	2	話す・聞く能力 3問	2	2
読むこと 2問	4	4	書く能力 5問	4	4
言語文化 8問	2	2	読む能力 2問	4	4
			知識・理解・技能		
算数A	県比	全国比	算数A	県比	全国比
全体 14問	1	1	全体 14問	1	1
数と計算 5問	5	5	読心・意欲・態度	1	1
量と測定 4問	1	1	数学的な考え方	1	1
図形 3問	1	1	技能 5問	1	1
数量関係 5問	1	1	知識・理解 9問	1	1
算数B	県比	全国比	算数B	県比	全国比
全体 10問	1	1	全体 10問	1	1
数と計算 6問	1	1	読心・意欲・態度	1	1
量と測定 4問	2	2	数学的な考え方 5問	1	1
図形 2問	1	1	技能	1	1
数量関係 5問	2	2	知識・理解	1	1
理科	県	全国	成果・課題		
全体 16問	1	1	成果		
知識 3問	1	1	①国語「読むこと」		
			国比+11で改善		

NRT

組織の意欲向上

・5段階分布+知能5段階
・CRTとの領域別比較

知能・学力の差とCRTとの比較から成果を見いだす。

全国学調

次への推進力

・全国比マイナスを際立たせる
課題点の共通理解

2 どのように学校で課題を共有したのか ～組織的対応を目指した課題共有の手立て～

(1) 全校課題の学級経営案への位置付け

全校課題 2

【本校の課題解決に向けて】

全校課題 1

- 「読むこと」「量と測定」領域の向上
 - ・新聞を含め、多様な文章問題に取り組む。
 - ・「量と測定」領域に絞った前学年までの復習問題に取り組む。(量は少なく継続)
- 学校の授業以外での読書時間の10分未満の割合を減らす
 - ・音読カードで、家庭を巻き込む。
 - ・興味がありそうな本を音読で取り組ませる。
- 授業と連動した家庭学習
 - ・漢字の学習は、小テストに向けて取り組む。新出漢字は、児童同士が担当の漢字を予習して教え合う。
 - ・自学として授業中のノートから、自分の考えを加えたノートや、その日の学習を振り返る学習を進める。
- 善悪の判断力の育成
 - ・道徳で資料と日常生活を結びつけて生活を振り返らせる。
 - ・高学年として「気付く力」「判断する力」「実行する力」を意識させる。

学級の実態に合わせて担任が記入

Chance & Challenge

- ・「読むこと」「量と測定」「読書」を学級経営案へ位置付け。
- ・一人ひとりの担任が学級に適した取組を計画
- ・学期毎に反省。他の学級の取組も参考に改善。

※参考「横手北小学校学級経営案」
(左図は6年学級経営案より)

(2) 毎月の職員会議

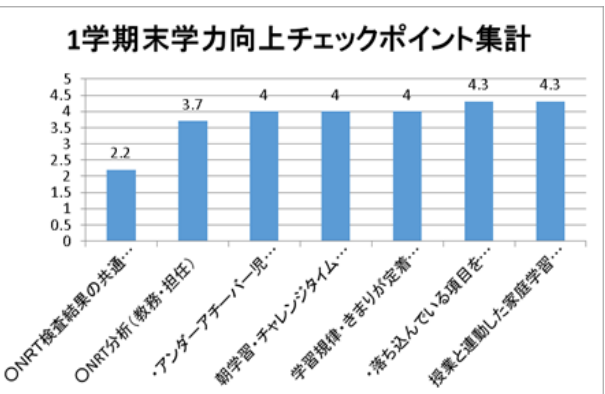


(3) 学力向上チェックポイント

学力向上年間計画の取組状況をチェックする時期を設定し、5月末・1学期末・10月末・2学期末・3学期末に担任・教務・研究主任がチェックを行った



	取り組み	チェック
5月末チェック	○全校漢字・計算テスト (担任・研究部)	
	○学習用具をそろえよう週間 (研究部)	
	※前年度C R T検査事後指導の検証 (教務・担任)	
	・N R T・全国学調の分析 (教務) を基にした事後指導計画の作成及び補充指導の実施 (実施)	
	▽保護者 (地域) を巻き込んだ取り組み	
	・検査結果概要の公表と学力向上の取り組みの周知 (校長・教務・研究・担任)	
	・各種検査問題の解説による求められている学力の説明 (教務)	
	・質問紙の結果についての解説 (教務)	
	・朝学習・チャレンジ学習のねらいと取り組みについての周知 (研究主任)	
	・学習用具をそろえること、規則正しい生活することなどの協力を求める。(研究主任)	
	▽家庭学習強化週間①の取り組みで、目標を決めて、家庭での学習習慣の定着を図る。(研究部)	
	朝学習を計画的に行なった。	
	チャレンジタイムを計画的に行なった。	
	授業と連動した家庭学習が概ねできた。	
	学習規律・きまりが定着してきている。	
1	○N R T 分析 (教務・担任)	



(4) 「研究ともりっ子キャンペーン」取り組み状況の職員室への貼出し



3 明らかになった課題などを克服するためにどのように取り組んだか

～組織的な対応のための手立て～

(1) 補充指導のための資料の工夫

- ①N R Tアンダーアチーバー児童についての資料
 - ★当該児童だけ誤答・無答の問題等結果のまとめ
 - ★担任と教務との話し合い⇒現状と今後の相談⇒課題点・改善策等
 - ☆補充指導時・日常の学習習慣の改善に資料活用
- ②通過率の低い問題の年間指導計画への書き込み
 - ⇒授業で気を付けて指導してほしい箇所を示す。
 - ☆N R T低正答率問題の躓きを授業で改善しやすくする。



アンダーアチーバー児童の NRT の状況		4年用 NRT	
学年	内容	単元	問題
2年	ハリー 国語読むことのみ3 算数 数と計算が最 感想を言う、説明文 長さの直接比較、広	1. 折れ線グラフ と表	現5年の課題 問題番号 問題見出し 留意点(手引きより) 28 折れ線グラフの読み方 56/43 「9月から11月」を選ぶ誤りが非常に多い。9月 に8200g になっているという事実を「9月から」 と捉えているが、実際には9月以前に8000gを越 えている。「超える」という言葉の意味をグラフと照 らし合わせながら理解させたい。
3年	レナード 国語はどの領域も Bss56が高すぎる 聞き取り・良い質問、話すこと、書く題材に必要な事柄、場面の様子の読み取り、カタ カナ表記 三角形と四角形の理解、表に分類整理する ペラナ 国語 「話す聞く」以外は最下位 算数 【数量関係】以外は下から2か3番目 カタカナ表記・スイッチ、主語・弟は、反対の意味の語・おす 正方形の理解、現法の適用・式・答え、適切な長さの単位、長さを測る 乗法九九4×7・8×4、乗法と式の関係 ※九九やカタカナなど覚えるべき事が多い	2. 角の大きさ 3. わり算の筆算 (1) 4. 垂直・平行と 四角形	22-2 対角線が垂直な四角形 50/21 有意差あり 2つの直線が直角に交わっているとき、この2つの 直線は「垂直である」という。垂直の意味を正しく理 解させるためにも、見た目の印象で判断させるので はなく、正確に直角を確認させることはもちろん、 ます目の関係からも正しく判断できるようにしてい きたい。 26-1と2 台形の理解 38/29 ひし形の理解 25/43 台形は向かい合う1組の辺が平行な四角形であり、 ひし形は4つの辺の長さが等しい四角形である。し かし、示された図の無機によって、正確に判断でき ない児童も多い。四角形の名称とその性質は向きに 関係ないことを、作図などの活動を通して理解させ たい。
4年	オドーは転出のため省略 ティム 国語【読むこと】は14問中3問		上P78 79△1 下のように、対角線の持ちようを使って、四角形をかきます。 どんな四角形ができますか。 ① ② ③ ④ 上P142 台形の問題が無いので、 台形問題をつけたす。 ひし形も意識させる

SP表から、他の児童が
できているが、この児
童はできていない問題
を抽出

教科書の関連問題の
ページ・問題番号と
問題

問題番号と通過率（本校/
全国）と手引きの解説

③全国学調の誤答原因資料

⇒ 誰がどの誤答パターンであったか・原因は何か ⇒ 補充指導につなげる。⇒ 9月に補充時間（後述）

全国学調 低全国比問題 考察

1 本文に出てきていない「海」を選択してしまう。

⇒比喩・感情・景色なのか音なのか会話なのか行動なのか分からない。

国A4読む 『くらやみの物語』を読んで心に残ったことを一文を取り上げて説明する
一14.9 際に、その一文が心に残った理由として適切なものを選択する

問い 中西さんは、特に心に残った文として_____を取り上げ、その理由について説明しようと考えています。理由とし
て最も適切だと考えられるものを、次の1～4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

本文 _____部「草がそよぎをどめ、草の穂波の向こうに沈む夕日が、あたり一面を火の海にしている」

選択肢 1 登場人物の行動から、コウタのあわてている様子が伝わってくるから。
2 景色や様子を表す表現から、コウタのいかりやくやしさが伝わってくるから。
3 音を表す表現から、山の静けさと海の激しさが伝わってくるから。
4 登場人物の会話から、お互いを思う気持ちが伝わってくるから。

解答類型

	1	2 正答	3	4	5	6	7	8	9 9	無解答
本校	4.5 1名 ジョン	59.1	31.8 7名	4.5 1名 カーク					0.0	0.0
県	2.3	74.1	17.8	5.6					0.0	0.1
全国	2.5	74.0	17.3	5.8					0.0	0.3

誤答3を選んだ児童 ライク、ビバリー、ナターシャ、シスコ、ディアナ、ジェイク、ケス

考察 本校の3と回答した割合が、全国より高くなっている。_____部には「波」「海」という言葉は出て
くるが、実際は「草の穂波」「火の海」であり、海ではないのに、【海の激しさが伝わってくる】3番を
選んでいる。また、前の文からコウタの怒りや悔しさを伝える部分であることも分かるが、それもつづ
んでいない。文脈ではなく、_____部にある言葉だけで選んでいるのではないだろうか。なお、1番
と4番を選んでいる2名は、_____部には行動も会話もないことが分かっている上に、コウタが
「あわてている」わけではないことも読み取れていない。

また、選択肢に「行動から」「景色や様子を表す表現から」「音を表す表現から」「会話から」と書か
れており、_____部は、行動でも音でも会話でもないことから、消去法でも2番を選ぶにもかかわらず、間違えている。

関連 3年・4年紹介したい本を取り上げて説明すること
3年「はりねずみと金貨」4年「世界一美しいほく村」
5年・6年 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉え、優れた叙述について自分
の考えをまとめること
5年「世界で一番やかましい音」「注文の多い料理店」「大造じいさんとがん」
6年「風切るつばさ」「海の命」

2 本文と問いの言葉をすり替えられると分からない

国B1一話 【話し合いの様子の一部】における木村さんの発言の意図として、適切な
一9.8 もものを選択する

問い 【話し合いの様子の一部】の木村さんは、何のために質問をしたと考えられますか。最も適切なものを、次の1か

誤答の原因の見出し
注目度を高める工夫

問いの概要を掲載

問題文が手元になくても分かるように

解答類型

学調集計を利用

間違えた児童

補充指導の際に活用

誤答の原因についての考察

全国学調報告書（国立教育政策研究所）も活用

教科書単元との関連

誤答を授業に活かす



Chance
&Challenge

(2) 研究ともしりっ子キャンペーン（「ともしりっ子」は地元の「砥森山」にちなんだ名称です）

遠野西中学校区5校共通の授業視点「意欲の向上」「言語活動の充実」+ 県の授業づくりの視点「振り返り」で授業改善を行っている。本校では「研究ともしりっ子キャンペーン」として、中学校区で取り組んでいる授業改善の視点での授業相互参観・共通ドリルの進捗状況・振り返りの質的向上等に全員で取り組んだ。取組状況は職員室内に掲示し、互いに確認した。



〈中学校区授業交流研究会〉

単元レベルの授業実践 (単元と授業予定日)		
1年	3つの数の計算	9/4 ④
2年	筆算のしかたを考えよう	9/11 ⑩
3年	割合のたし算	9/12 ③
4年	西中学校学区視点で	②
5年	相互参観	①
6年		②

第1回 研究ともりっ子キャンペーン 「振り返りの質的向上」					
授業のねらいに沿って視点を与えた振り返り					
振り返りまでできたら〇をつけます。					
	2年	3年	4年	5年	6年
18 (水)					
19 (木)					
20 (金)					
23 (月)					
24 (火)					



(3) 補充学習時間の確保 (9月に4回)

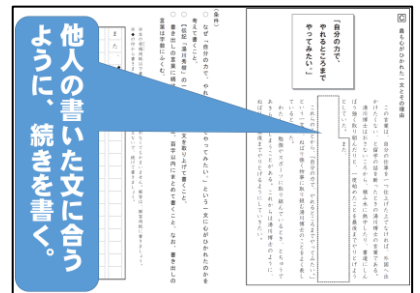


朝の活動	なし
朝の会	8:15~8:25
1校時	8:25~9:10
準備	9:10~9:15
2校時	9:15~10:00
いっしょタイム	10:00~10:10
中休み	10:10~10:25
準備	10:25~10:30
3校時	10:30~11:15
準備	11:15~11:20
4校時	11:20~12:05
給食	12:05~12:50
休み	12:55~13:20
復習の時間	13:25~13:50

(4) 日常の学力向上への取組の継続

- ① 家庭学習頑張り週間 ⇒ 年4回家庭を巻き込み、めあてを意識させて
- ② 朝学習 ⇒ 「読むこと」共通ドリル・音読 チャレンジタイム「活用」
- ③ 全校テスト ⇒ 4・8・1月に漢字計算テストを実施。意欲化のため
- ④ 保護者への働きかけ ⇒ P T A総会・地区懇談会・面談で
- ⑤ 全国・県の学力調査資料活用
- ⑥ 家庭学習 ⇒ 「振り返り」をする。ノートの掲示でよい取組を紹介

〈特別時程により復習の時間を確保〉



【成果】

Change & Confidence

1 職員集団にとって

(1) 補充指導の時間確保についての感想から

「十分にはできなかったが、じっくりと色々な問題に取り組むことはできた」
 「復習したいと思っても教科も進めたいので、なかなかできなかったが、時間が設定されたのでできた。」
 「問題の考え方や解説ができた。」
 「TT的にやれたのがよかった。」

〈PTA 総会で全国学調の出題を説明〉

(2) 調査結果から作成した補充指導資料についての感想から

「どうして間違えたのかが担任も子どもも分かった。例えば、算数のうろこ模様から正三角形4つできている図形を見つける問題では、2名が、正三角形と直角三角形は同じ図形だと思っていたということが分かった。問題を解く速さ・問題量の多さについていけなかったことも分かった。今回は1回に2問ずつ行ったので、解くことができた。間違えた児童名と誤答類別があったので、ピンポイントで指導ができた。」

(3) 研究ともりっ子キャンペーンについて

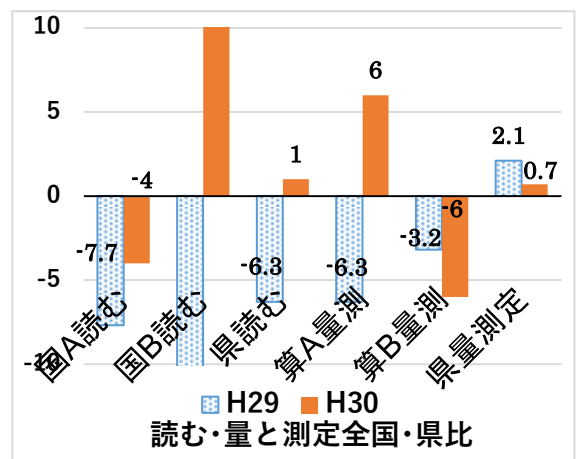
「西中学校学区視点の授業改善の手立てを蓄積できた。」
 「振り返りの視点、時間の配分など授業の改善が進んだ。」

2 児童にとって

(1) 昨年度の課題としていた「読む」については、向上してきている。「量と測定」は算数Bで課題が残っている。

(2) 補充指導の時間確保についての児童の感想

「解説が役に立った。一人勉強でもやった。」
 「どこをどんな風に直せばいいか分かった。」
 「解説されたのでよく分かった。一人勉強で練習できると思った。」
 「自分で考えるより先生とかみんなとやった方が分かり易かった。」
 「授業の時間を取らないから授業が遅れないのがよかった。」



and 5TH "C"

☆今年度の取組を次年度へも継続！ 〈5つ目の“C”〉 “Continue”